

日本ロレンス協会第 50 回記念大会

——後援：慶應義塾大学教養研究センター——

日 時：2019 年 6 月 8 日(土), 6 月 9 日(日)

会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎 2 階 中会議室

第 1 日目：6月8日(土曜日)

研究発表(13:05～14:15)

ロレンスのキリスト教観に対する母の影響——*Sons and Lovers* を中心に

大江 公樹 (早稲田大学大学院生)

The Fox における狐の象徴性

田島 健太郎 (九州大学大学院生)

50 周年特別企画1 基調講演(14:25～16:55)

——ロレンスとモダニズム——

Lawrence and the Aesthetics of Modernism

Michael Bell (ウォリック大学名誉教授)

T. S. Eliot and D.H. Lawrence: 'Towards the Door We Never Opened'

Sean Matthews (ノッティンガム大学准教授)

第 2 日目：6月9日(日曜日)

研究発表(10:00～11:10)

Lady Chatterley's Lover と反知性——「上」を志向するコニー

杉野 久和 (京都大学大学院生)

動的プロセスとしての歓待——D. H. ロレンスにおける「風」のモチーフの再考を通して

井出 達郎 (東北学院大学准教授)

50 周年特別企画2 特別講演(11:20～12:20)

——D. H. Lawrence の伝記資料とその収集——

井上 義夫 (一橋大学名誉教授)

50 周年特別企画3 シンポジウム(13:10～15:40)

——21 世紀の文明社会のゆくえ：D. H. ロレンスとノルベルト・エリアス——

文明化と存在論——ロレンスの文明論に関する一考察——

講師 鳥飼 真人 (高知県立大学准教授)

Norbert Elias and Social Identity: Conceiving the Individual, Culture and Society

講師 Julian Manning (日本大学教授)

詳細は日本ロレンス協会ホームページをご覧ください→<http://dhlsj.jp/convention.html>